

2013 年度ディアコニア事業計画

特別養護老人ホーム ディアコニア
金高美江子

2012 年度事業計画から、以下の 2 項目の重点目標を継続して取り組みます。

重点目標

1. ユニットケアの充実

ユニットケアは、自宅に近い環境の介護施設において、他の入居者や介護スタッフと共同生活をしながら、入居者一人ひとりの個性や生活リズムに応じて暮らしていけるようにサポートする介護手法です。ディアコニアも開設当初より、ユニットケアに取り組んでいます。

入居者の尊厳ある生活を保障していくため、一人ひとりの個性と生活リズムを尊重した個別ケアが求められ、それを実現する一つの手法がユニットケアです。入居者 10 人前後を一つのユニットとして位置づけ、各ユニットに固定配置された顔なじみの介護スタッフが、入居者の個性や生活リズムを尊重した暮らしをサポートしていくという特徴を生かし、過去 10 年間の実績を振り返り、以下の点について重点的に取り組みます。

- ・ユニットでの行事計画（外出、調理、作業等）を立て入居者が楽しめる生活を提供する。
- ・個々の入居者を介護員等が理解し、入居者一人ひとりに合ったケアを考え、より良い生活ができるようにしていく。

また、入居者への食事を提供している委託業者を 2012 年度に選定しました。食事の提供方法やメニューなどについて現状からの改善点が多くあります。施設と委託業者が入居者のために、連携し改善していきます。

2. 職種間の連携を深める

介護は、介護員、看護師、相談員、ケアマネなど複数の職種の人々が関わり実現しています。これらの連携が悪ければ良い介護はできません。このため、職種間の連携を深めるために以下の点に取り組みます。

- ・チームケアの必要性を理解する。
- ・各職種の責任や役割を認識する。
- ・サービス担当者会議では関係者が全員出席できるようにする。
- ・必要な情報を共有するために、連絡を密にする。

小目標

1. 地域に開かれた施設とする

袋井市山崎という土地柄を生かし、以下のような地域の方々との連携を強くしていきます。

- ・地域の方々に施設の行事に参加して頂き、施設の職員も積極的に地域の行事に参加する。
- ・地域の方々の特養への入居、デイサービス・ショートステイ・訪問介護の利用要請に応える。
- ・地域の方々の雇用を受け入れる。

医務・施設ケアマネ・介護・相談員・栄養士など各部署で具体的な目標を個々に設定し、達成していきたいと思えます。